

## 地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

第四十四回技術會議  
第二部第四回會議々重要旨

一、審議事項

一、第一製鋼工場改造に關する件

二、開 催 昭和四年十一月廿二日

三、出席者 別紙記載

四、議 事

(一) 技 監 洞岡に建設中の工場は來年二月に高炉一基分を完成すべく昭和五年度末には更に一基を完成して年額三十八萬噸の銑鐵を生産すべし、而して第一製鋼工場(製鋼能力二十八萬噸)は今や根本的修繕を必要とするの時期に達せるが故にこの際工場を前記銑鐵炉と連絡せしむるため洞岡に移轉し且つ經濟的單位たる年額五十萬噸の製鋼能力を有せしめんことす

工場の配置並に關係設備に關し審議したし、但製鋼のみに關する事

項は此席に於てせず別に製鋼技術者又は其他と審議せらるべし  
 尙鋼塊三十五萬噸は軌條製造に使用する筈なるも彈丸十五萬噸の處  
 分法に關しては市場の恒勢を察して決定せんことす

(製鋼部長より工場の配置豫定圖を説明せられ審議の結果原案に示さ  
 れたる工場の位置は南北幹線に一層接近せしむべく研究のことに決  
 定せらる)

(四) 條鋼部長 均熱炉の位置に關しては問題なるが其利害關係に就ては  
 後日計算書を提出すること、せん

(三) 動力部長 動力幹線は架空式にし變電所は可及的諸工場の中央個所  
 に建設したし

(二) 技監 成品の積出は直學この海岸より行ふ必要も起るべし、可能な  
 りや

(一) 技術課長 現在實行せる解取りならば部分的に可能なるべし、販賣  
 部としたりも其希望ありしやうなれば研究を進むべし

- (ハ) 技監 餘熱汽鍋より得らるる蒸気の處分法如何
- (ト) 運輸課長 無火機關車に利用するのみにては消費し能はず、スター  
 ルターピン<sup>等</sup>により小規模の發電機を以て發電する事は一案ならん、  
 尙各加熱炉にも一般に餘熱汽鍋を附する傾向あり調査を進めんとす
- (チ) 製鋼部長 洞岡製鋼工場に於ては高炉並に鉄炭炉の剩餘瓦斯を利用  
 すべくその發熱量を調査せしに平時は總熱量に於て不足なきが如し  
 然れども平炉用として適當なりと思惟する高炉瓦斯對炭瓦斯の對  
 比なる湿和瓦斯を得んがためには他より高炉瓦斯の補給を要すべし  
 剩餘瓦斯量不足の場合には汽鍋用の瓦斯の支給を受くるか止むを得ず  
 んば釜兒等を焚燒し瓦斯發生炉の建設は之を行はざる心算なり  
 工場建築を急ぐ關係上之を所外に於て建設せしむるか所内に於てす  
 るか決定を希望す
- (リ) 技監 工場の建物は外部に必要事項を示して設計せしめ且製作をも  
 請負に附せんとす

(ス) 工作部長 工作部に於ては年間七〇〇〇一八〇〇〇種の工事施行を必要とする仕事の中綱によりて職工の維持に支障を起す事なきやう相當の工事を割當られたし

(シ) 技監 平炉並に諸機械の製作は工作部にて行ふを可とすべし、建物の工事を外部に請負はす場合にも所内に有力なる工事監督者を専任し置く必要あり

(チ) 製鋼部長 製鋼工場建設費は技監より八百五十万圓程度との神説ありしが平炉金物費、建物建築費殊に基礎工事費豫想外に大なりしたため總額に於て一千萬圓を超えたり

(リ) 技監 年産額五十萬種の製鋼工場建設費としては八百萬圓位を妥當と認む、更に總豫算を削減改訂せられたし

建物建築を請負工事に附するや否やに就ては更に長官の意向を伺ふ事とす

奉に御送附致候第四十四回技術會議第二部第四回會議々要旨中第三  
頁以下を別紙の通り訂正致候に付御取換相煩度候

十二月四日

技術會議幹事

- (ハ) 技監 餘熱汽罐より得らる、蒸汽の處分法如何
- (ト) 運輸課長 無火機關車に利用するのみにては消費し能はず、スター  
ルタービン等により小規模の發電機を以て發電する事は一案ならん  
尙各加熱炉にも一般に餘熱汽罐を附する傾向あり、調査を進めんとす
- (チ) 製鋼部長 工場建築を急ぐ關係上之を所外に於て建設せしむるか所  
内に於てするか決定を希望す
- (リ) 技監 工場の建物は外部に必要事項を示して設計せしめ且製作をも  
請負に附せんとす
- (ス) 工作部長 工作部に於ては年間七〇〇―八〇〇の礎の工事施行を  
必要とす、仕事の中絶により職工の維持に支障を起す事なきやう  
相當の工事を割當られたし
- (ニ) 技監 平炉並に諸機械の製作は工作部にて行ふを可とすべし  
建物の工事を外部に請負はす場合にも所内に有力なる工事監督者を

専任し置く必要あり

(イ) 製鋼部長 製鋼工場建設費は八百萬圓程度の豫算なりしも動力、水道の工事費殊に基礎工事費大なりしたため總額に於て一千萬圓を超えたり

(ウ) 技監 年産額五十萬噸の製鋼工場建設費として八百萬圓位を妥當と認む、更に總豫算を削減改訂せられたし  
建物の請負工事の件に就ては更に長官の御意向を伺ふこと、す



出席者(十二名)

野田 技監

久保田 製鋼部長

角野 技師

景山 條鋼部長

黒田 化工部長

岸原 動力部長

山縣 工作部長

沼田 土木部長

八名 囑託

中原 運輸課長

井村 技術課長

安田 技師